

## 船舶事故調査報告書

平成24年5月17日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 庄 司 邦 昭  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成23年6月4日 10時30分ごろ～17時10分ごろの間）
発生場所	佐賀県白石町東方沖（有明海） 白石町所在の住ノ江港第1号灯標から真方位215° 800m付近 （概位 北緯33° 10.6′ 東経130° 13.8′）
事故調査の経過	平成23年6月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 <sup>しちふく</sup> 七福丸、0.7トン SA3-32760（漁船登録番号）、個人所有 7.35m（Lr）×1.52m×0.56m、FRP ガソリン機関、漁船法馬力数30、昭和61年8月10日
乗組員等に関する情報	船長 男性 79歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和58年9月9日 免許証交付日 平成20年7月8日 （平成25年9月8日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成23年6月4日09時30分ごろ、白石町東方沖において、えび漁を行うため、佐賀県佐賀市 <sup>さんちやう</sup> 三丁川下流の係留地を出航した。 僚船の船長は、帰航中の17時10分ごろ、干潮時にはえび漁を終えて帰港しているはずの本船に気付き、不審に思って近づいたところ、船長の姿が見当たらず、ポールが2本船内にあり、残り2本のポールが海底に刺さった状態で本船及びえび網がつながれていたため、船長の家族及び所属漁業協同組合に携帯電話で知らせた。 船長は、僚船船長らの漁業協同組合員及び通報を受けた巡視艇によって捜索が行われたが発見されず、5日17時10分ごろ、通行人により佐賀県の <sup>ろっかく</sup> 六角川上流の六角橋付近で漂流しているところを発見された。 船長は、最寄りの警察署員によって所属警察署に運ばれ、死亡が確認された。 船長の死因は、溺水と検案された。
気象・海象	気象（佐賀県白石地域気象観測所）： 6月4日 12：00 天気 晴れ、風向 南東、風速 3.2m/s

	<p>14:00 天気 晴れ、風向 南南東、風速 4.6m/s  16:00 天気 晴れ、風向 南南東、風速 4.0m/s</p> <p>海象：海上 平穏</p> <p>潮汐（佐賀県六角川河口の住ノ江）：  6月4日 満潮 10時30分ごろ、23時30分ごろ  干潮 05時00分ごろ、17時30分ごろ</p>								
その他の事項	<p>本船は、ふだん、ポール4本とえび網を積んで満潮の1時間前に係留地を出航し、えび漁を終えるとポールとえび網を積み込んで帰航していた。</p> <p>本船のえび漁は、満潮から干潮1時間くらい前までの引き潮の間に行い、ポール4本を海底に刺し、ポールに本船及びえび網をつなぎ、えび網の袋口を潮流に向けてエビが入り込むようにして行うものであった。</p> <p>本船は、船体に衝突痕がなく、クーラーボックスにはエビが数匹入っていた。</p> <p>船長は、発見されたとき、救命胴衣を着用しておらず、救命胴衣は家に置いてあった。また、携帯電話等の通信手段を確保していなかった。</p> <p>船長は、高血圧と心臓の薬を服用していたが、その他に持病はなく、日常生活に支障はなかった。</p>								
分析	<table border="1"> <tr> <td>乗組員等の関与</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>船体・機関等の関与</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>気象・海象の関与</td> <td>不明</td> </tr> <tr> <td>判明した事項の解析</td> <td> <p>船長の死因は、溺水であった。</p> <p>本船は、10時30分ごろから白石町東方沖において、えび漁を始めたのち、17時10分ごろ無人の状態で見つめられたことから、この間において、船長が落水したものと考えられる。</p> <p>本船は、発見時、クーラーボックスにエビが数匹入っており、海底に差し込んでいたポール4本中2本が船内にあったことから、船長が、えび漁を終えてポール及びえび網を船内に揚収中、落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> </td> </tr> </table>	乗組員等の関与	不明	船体・機関等の関与	不明	気象・海象の関与	不明	判明した事項の解析	<p>船長の死因は、溺水であった。</p> <p>本船は、10時30分ごろから白石町東方沖において、えび漁を始めたのち、17時10分ごろ無人の状態で見つめられたことから、この間において、船長が落水したものと考えられる。</p> <p>本船は、発見時、クーラーボックスにエビが数匹入っており、海底に差し込んでいたポール4本中2本が船内にあったことから、船長が、えび漁を終えてポール及びえび網を船内に揚収中、落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
乗組員等の関与	不明								
船体・機関等の関与	不明								
気象・海象の関与	不明								
判明した事項の解析	<p>船長の死因は、溺水であった。</p> <p>本船は、10時30分ごろから白石町東方沖において、えび漁を始めたのち、17時10分ごろ無人の状態で見つめられたことから、この間において、船長が落水したものと考えられる。</p> <p>本船は、発見時、クーラーボックスにエビが数匹入っており、海底に差し込んでいたポール4本中2本が船内にあったことから、船長が、えび漁を終えてポール及びえび網を船内に揚収中、落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>								
原因	<p>本事故は、本船が白石町東方沖においてえび網等の揚収中、船長が、落水したことにより発生したものと考えられる。</p>								
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁船に乗船中は救命胴衣を着用すること。</li> <li>・ 落水した際の連絡手段として防水型携帯電話を常に所持しておくことが望ましい。</li> </ul>								